

『It's my choice 私の選択 教師用マニュアル』
ステイブ&マリット ケース

サンプル版

これは完成版ではありません。
お試し用にのみお使いください。



驚き (創造と安息日)

イツツ・マイ・チョイス

2



バプテスマガイド 概要2 驚き（創造と安息日）

導入：あなたの誕生日はいつですか？ 誕生日パーティーをしたことがありますか？ どんなふうにお祝いしましたか？

I. 神様は世界を創造されました。もし神様がいないのなら、別の説明が必要です（創世記1章1節）

- A. 聖書の最初の聖句。創世記1章1節を自分の言葉でまとめてみる。
- B. 神様は、世界を創造されました（あなたも）。
- C. 進化論という考え方。
- D. あなたは創造論を信じますか？ それとも進化論を信じますか？

II. 神様は、安息日を創造されました。（創世記2章1～3節）

- A. 創造週の出来事。
- B. 世界の誕生日としての安息日（バースデーケーキ）。
- C. 安息日を記念して休み、祝福し、聖別された。

III. イエス様は、安息日を守られました（ルカによる福音書4章16節）。

- A. 安息日は、創造と同時にスタートしました。
- B. シナイ山の十戒に続きました。
- C. イエス様も、安息日を守られました。
- D. 安息日は土曜日です。
- E. なぜ多くのクリスチャンが、安息日の代わりに日曜日に礼拝するのでしょうか？

IV. あなた自身のしたいことではなく、神様のことをする（イザヤ書58章13、14節）。

- A. あなた自身のしたいことをしない。
- B. 神様のことをする。

V. 安息日は、私たちのためにあります（マルコによる福音書2章27、28節）。

- A. なぜ、安息日が重荷になってしまうのでしょうか
- B. 神様がお与えになった安息日の目的
- C. 私たちにできることはなんでしょう

結論：安息日を特別な日にするために、あなたにできることは何でしょう？

バプテスマガイド 要点2 驚き（創造と安息日）



聖句

1. 創世記1章1節：神様が世界を創造されました。
2. 創世記2章1～3節：神様が安息日を創造されました。
3. ルカによる福音書4章16節：イエス様は安息日を守られました。
4. イザヤ書58章13、14節：安息日は、神様のことをする日です。
5. マルコによる福音書2章27、28節：神様は、私たちのために、安息日を創られました。

決心の時間

私は、神様が世界と私を創られたことを信じます。

私は、安息日に神様のことをするために、計画を立てることによって、安息日を守りたいと思います。

具体的に（ステージ3の子どもに適切に）

「粘土の日」

創造週のそれぞれの日をイメージできるものを創ってみましょう。

「ケーキでのお祝い」

世界の誕生日を、バースデーケーキでお祝いしましょう。

「カレンダー作り」

時間の周期について考え、カレンダーの起源を調べてみましょう。

安息日にしたいことがらのリストを作りましょう。

安息日にふさわしいことと、そうでないことを分けてみましょう（よい事・悪い事・とてもよい事・いちばんよい事）

必要な道具

- ・基本：聖書、生徒ワークブック、ペンか鉛筆。
- ・それぞれの生徒用に、粘土。
- ・バースデーケーキ、七本のろうそく、紙皿、フォーク、ティッシュ。



バプテスマガイド 内容2 驚き（創造と安息日）

導入

あなたの誕生日はいつですか？ 何年の何日に生まれたか、正確な日付を知っていますか？ ワークシート2に記入しましょう。

生まれたときのことを覚えていますか？

（反応：ぼかんとした顔、たわいない答えを期待します）

誕生のビデオや、写真を見たことがあるかもしれませんが、誰も、自分の誕生日を詳しく覚えている人はいません。自分が生まれたという事実について、誰かが話してくれることや、見せてくれるものに頼るしか方法はありません。

養子の場合、成長して大人になるまで、自分の（生物学的な）親を知らずにいます。両親が分らない人もいますし、生まれた日を正確に知らない人もいます。私たちは生まれたときのことを覚えていないので、私たちが信頼できる人たちが、生まれた日と両親について語るのを信じるしかありません。

1. 創世記1章1節： 神様は世界を創造されました。

創世記1章1節は、聖書の最初の言葉です。それが、どんな意味なのかを調べてみましょう。

（一人の生徒に読んでもらい、その後みんなに暗唱させます。）

これはどんな意味でしょう？ あなた自身の言葉で言い換えてみましょう。誰か、この聖句について説明してください。

（一人か二人のお友達に、わかったか聞いてみます。その後で、聖句シート2に言い換えを書いてもらいます）

聖書によれば、神様は世界を創造されました。しかし、誰かそれを見ていた人はいたでしょうか？ みんなの中に、神様が世界を創造するのを見た人がいますか？ 誰もいませんね！

では、みんなの中で何人が、神様が世界を創造したことを信じていますか？

（手をあげさせます。）

どうして、それを信じているのですか？

（反応：確認するときに、ディスカッションの主要テーマを強調するようにしましょう）

私たちは神様を信じています。その神様が、聖書の中に重要なメッセージを与えておられるので、私たちは神様が世界を創造したことを信じることができます。それが、聖書の最初のメッセージなのです！ もし、神様が世界を創造されたのなら、あなたを創ったのは誰でしょうか？

（反応：両親、と言う生徒には、「では、あなたの両親を創られたのは誰ですか？」と尋ねます。家

系図をさかのぼれるなら、ルカによる福音書3章37節にあるように、最初の人間アダムに行きつく、ということに気付くように助けます。)

次のことをじっくり考えてみましょう。

神様があなたを創られたのです。それは、あなたが神様の子どもだということを表しています。私たちにとっての親は、両親だけであると考えていますが、新しい意味では、神様が私たちの親なのです。あなたは、両親に肯定的な考えを持っているかもしれませんが、否定的な思いをもっているかもしれません。私たちの両親は、私たちが小さかったときに良く世話をしてくれましたが、もっと大きな意味で、神様はいつでも私たちを世話してくれる親なのだ、と考えることもできます。

しかし、世の中には神様も聖書も信頼できないと言う人がいます。彼らは、神様があなたを創られた、と聞いても信じようとしません。神様の子どもであるという事実を受け入れないことは、なんと不幸なことでしょうか！ 彼らに「あなたを創ったのは誰ですか？」と尋ねたなら、彼らは「両親です」と答えるでしょう。もし彼らに、家系図を最初までさかのぼるように言っても、彼らは、神様が最初の親であることを認めようとせずに、代わりに進化論の話をするでしょう。何百万年も前、自分の先祖は「猿」であって「人間」ではなかった、と説明するでしょう。さらにその前は、海の生物だったと言うのです。生きていてすべての人は、神様が世界を創造するのを見ていないのと同じように、誰も、海の生物が陸にあがって、猿に進化し、ついに人間にまでなったのを見ていません。

どちらの話をお前は信じますか。どちらの話にも、いくつかの証拠があると言われています。しかし誰も、事実を見た人はいません。どちらの話をお前が信じるのかは、神様と聖書を信じるか、信じないか、という選択をすることになります。ワークシートの質問2と3を見てください。

(誰があなたを創ったか、という質問に対する答えを記入するのを助けてください)

あなたを創ったのは、誰でしょう？ それは、あなたが神様を信じるかどうかによると思います。あなたは、自分を神様の子どもだと信じますか、それとも、猿の子どもか、海の動物たちの子どもか、粘菌の子どもだと信じますか？ 私は、神様を信じているので、自分が神様の子であると信じています。あなたはどうですか？

II. 創世記2章1～3節： 神様は、安息日を創造されました。

復習として、創造週のそれぞれの日に、神様が何を創られたか、確認してみましょう。私たちの世界を創るために、何百万年も時間をかけて変異させる代わりに、神様は、一週間で創ることを選ばれました。神様は、世界を一瞬で創ることもできましたが（神様ですから！）その代わりに、七日間で創ると決められたのです。なぜ、七日間なのでしょう？ 答えは天国で神様に聞いてみるまで、分らないでしょう。でもそれが、神様が決めたことでした。もし、それぞれの日に何が創造されたかを忘れてしまったとしても、聖書の最初の章を見ればいつでも見つけることができます。私たちがそれを忘れないように、神様は書き残して下さったのです。

遊び：粘土の日

生徒一人ひとりに、粘土を渡し、創造週のある一日をイメージできるものを作ってもらいましょう。それぞれの日に何を創ったかが、思い出せない時は、創世記1章を見るように言いましょう。それぞれの生徒に、何日目かを割り振ることも出来ます（安息日は、創世記2章の最初の3節に書かれています。）粘土工作の時間を与えましょう。第一日目から七日目まで、番号を配置してそれぞれの作品を置きます。創造週のそれぞれの日に神様が創られたものを並べることができます。

第一日：光（3～5節）

第二日：空気（6～8節）

第三日：陸、植物、花、木（9～13節）

第四日：太陽、月、星（14～19節）

第五日：魚、他の海の生き物、鳥（20～23節）

第六日：陸の生き物と人間（24～27節）

第七日：安息日（創世記2章2、3節）

途中説明： 私たちも、粘土でものを作ることによって、創造を体験できます。まるで、神様が世界を創られた時のようにです！ 神様が、一週間で世界を創造することができたことは、本当に驚くべきことです。神様は、六日間で地球上のすべてのものを創造されました。そして、安息日を迎えます。安息日は、一週間のハイライトでした！ それはまるで、すべての準備を整えて、安息日にパーティーをするようなものでした。

安息日の創造について読んでみましょう。創造の物語の最後に出てきます。創世記2章1～3節です。（一人の生徒に声に出して聖句を読んでもらいましょう。そして、別の生徒に言い換えをしてもらいましょう。ディスカッションのあと、他の生徒にも、聖句シートに自分の言葉で書いてもらいます）

安息日は、私たちの世界の誕生日です。神様は、安息日を特別な「休みの日」とされたので、神様の創造を祝うことができました。私たちが安息日を祝うことは、神様が世界を創造されたことを信じていることを表します。そして、私たちが神様の子どもであることを思い起こすのです。テストで失敗したときや、お友達があなたの陰口を言っているのを聞いた時や、友人に裏切られてしまった時に力になります。自分の期待通りに物事が進まなかった時や、両親や先生の期待に応えられなかったときにも、役に立ちます。どんなことが起きたかに関係なく、安息日は、神様が私たちが創られたゆえに、私が神様の子どもであることを思い出させてくれます。

毎週、それを思い起こさせてくれるよいアイデアがあるでしょう。バースデーケーキとろうそくなしでも、世界の誕生日を祝っていることを覚えるために、あなたの想像力を働かせましょう。

遊び：バースデーケーキでお祝いする

(ここで、バースデーケーキと、七本のろうそくか、番号7の形をしたろうそくを、取り出しましょう。『ハッピーバースデー ディア ワールド』と歌い、誰かにろうそくの火を吹き消してもらいます。) 世界の誕生日を祝うことによって、私たちは、神様を私たちの創造主として認め、自分たちが神様によって創られたことを認めるように導きましょう。これは、私たちのアイデンティティーとなり、私たちと他の被造物との関係についての考えを広げることになるのです。)

途中説明：誕生日のお祝いは楽しい時間です。でも安息日は毎週やってきます。一年に一回ではありません。毎週、誕生日を楽しくお祝いするよい方法はないでしょうか？

神様が安息日を創られたという事実と共に、創世記2章1～3節は、安息日に関する鍵を与えています。三つの言葉を考えてみましょう。それは、「休み」「祝福した」「聖とした」(いくつかの翻訳では、「聖別した」)です。

私たちは「休み」と聞くと、時々眠ることをイメージします。でもこの言葉の意味は「止めること」です。それは、安息日に神様がなされたことです。神様は疲れたから、眠ったのではありません。神様は全世界を創られ、その働きを止められたのです。それは、創ったものを祝うための時間でした。アダムとエバが、創造主と特別な楽しい時間を過ごすために与えられたのでした。同じように、安息日は、私たちが一週間してきた働きを止める日です。なぜなら安息日は、創造主との特別な楽しい時間を過ごす日だからです。一週間働いて、安息日には仕事を止めることにどんな価値があるのでしょうか？

(応答：生徒から、自由に意見を出してもらいます)

聖句はまた、神様が安息日を「祝福された」と言っています。私たちは、この言葉をあまり使いませんが、それは「幸せの日」という意味です。言い換えるなら、安息日は幸福と喜びの日なのです。これはあたりまえには起きません。あることをしたり、しなかったりすることによって起きるのです。あなたは、何もしないで幸福になるわけではありません。また、誰かにそれを強制することもできません。それは、選択の結果なのです。

何があなたを幸福にしますか？ 安息日は、喜びにあふれた活動に参加する特別な日です。一週間の他の日にしてきたことを停止することで、あなたはこの喜びの経験をすることができます。そのためには、前もって計画を立てる必要があるでしょう。安息日を「幸せの日」にするために、あなたができることはどんな事でしょうか？

(応答：生徒から自由に。あるいは、あなた自身のアイデアを話してください。あなたの幸せが、必ずしも生徒たちを幸せにするわけではないことを覚えてください。彼らは、通常、活発で活動的なことを好むからです。)

聖句の3番目の言葉は、「聖とする」（他の聖書では、「聖別する」ですが、同じ意味です）この言葉をよく理解するためには、「特別なものを取っておく」と考えるとよいでしょう。たとえば、大切な機会のために、新しい服を取っておく、と考えればわかるでしょう。あるいは、サッカーや野球の大事な試合のために、新しいスパイクシューズを用意しておくことです。大好きなデザートを思い浮かべてください。それを毎日食べることはできませんが、特別な日には食べられるのです。神様が何かを「聖とされる」とき、それは特別なものになります。

安息日を「聖とする」と考えるとき、私たちは、安息日のためだけに取っておくもののかを考えます。安息日の朝食のためにシナモンロールや特別な料理、家族全員でのごちそうを準備する人もいるでしょう。海、山、湖、あるいはほかの場所へのピクニックを考える人もいるでしょう。安息日にだけ着ることのできる「特別の服」を持っている人もいます。

神様が安息日を「聖とする」、という意味は、その日を取っておいて、特別な時間にする、ということです。安息日のためだけに、取っておいたり、計画したりするのと同じ方法で考えれば、理解することができます。神様は毎日私たちのお世話をしてくださいますが、私たちは、必ずしも毎日、多くの時間を神様のために作ろうとはしません。でも、安息日は日々の活動を「止める」ので、神様のことに集中することができるのです。これが「安息日時間」です。

Ⅲ. ルカによる福音書4章16節： イエス様は、安息日を守られました。

第七日安息日は、十戒の一部として含まれているので、ユダヤ人のためだけのものと思っている人がいます（出エジプト記20章8～11節）。しかし、神様は「安息日を心に留め、これを聖別せよ」とおっしゃいました。神様は、安息日をシナイ山よりずっと昔にお与えになりました。神様は、思い起こさせる特別な日を与えたのです。それは、私たちにも必要なものです。

安息日は、創造のときに始まりました。覚えていますよね？ 十戒の第四条には、なぜ、それを聖としなければならないのか、の理由が書かれています。あなたがユダヤ人だから、ではなく、神が、六日のうちに世界を創られ、第七日に休まれたから、と宣言しています。安息日は、私たちの世界が創造された誕生日なのです。それは、ユダヤ人だけでなく、地球上のすべての人々のためにあるのです。「安息日を心に留め、これを聖別せよ」との命令は、私たちにも与えられているのです。

二千年前、人となられたイエス様は安息日を守られました。ルカによる福音書4章16節を開いて読んでみましょう。

（一人の生徒に読んでもらい、ディスカッションをしてから、もう一人の生徒に自分の言葉でまとめてもらいます。他の生徒たちも、自分の言葉で聖句シートに書いてもらいます）

ルカによる福音書のこの部分で強調されている事は、イエス様がメシアであり、故郷で拒絶された、ということです。イエス様が安息日に会堂、あるいは教会にいつものように行かれた、という事実は驚くべき出来事につながる事なのです。

イエス様が、教会で人々から拒絶された、ということは驚くべきことです。明らかに、安息日に教会へ行くことは、誰にでも保証されるものではありません。しかし、何人かの宗教的な人々が騒ぎ立

てるから、教会へ行かないとか、安息日を聖としないという考え方は、説得力のない言い訳です。完璧なイエス様であっても安息日を守られたのです。イエス様は、安息日の守り方についても、私たちの模範です。

土曜日が本当に安息日なの？ と思っている人々もいます。ここで典型的なカレンダーを見てみましょう。生徒ワークブックを見てください。

遊び：カレンダーを作ろう。

カレンダーの第七日は、何曜日か教えてください。

(生徒に答えさせる)

間違いないですか？ 何か見落としていませんか？ 週の第七日は木曜日ですか？ いいえ、違いますね。安息日は、ユダヤ人のためだけにあるものではありません。でも彼らは、何千年にもわたって週の記録を注意深く守ってきました。第七日目は、今でも第七日目なのです。私たちが「土曜日」と呼んでいる日が「安息日」なのです。

さあ、今月の（あるいは、どの月でも）日にちを右上の四角の中に書き込みましょう。月の始まりの日が何日であっても、七日間の週のサイクルに合っています。七日目はいつも安息日なのです。「土曜日」という名前は、ギリシャ人とローマ人が、太陽、月、惑星に付けた名で、彼らの神々の名前になっています。「安息日」（英語で、サバス）は、多くの言語で、似たような発音をします。例えば、スペイン語では、サバド、フランス語とドイツ語では、サバットです。

途中説明：どの曜日が安息日かは、簡単に見分けることができます。神様は、これを創造のときに始められました。それ以来ずっと続いてきたのです。

私たちは、科学の目からも見る事が出来ます。私たちのカレンダーは、太陽系の動きに基づいてできています。地球が自転するには、どのくらいの時間がかかりますか？

(生徒に答えさせる)

その通り！ 一日 24 時間。では地球が太陽の周りを回るのには、どのくらい時間がかかりますか？

(生徒に答えさせる)

その通り！ 一年間。私たちが「月」と呼んでいる周期は、何からきていますか？

(もう一度、生徒に答えさせる。一部の生徒が、毎月のサイクルは、月が地球の周りを回る時間から導き出していることを知っているでしょう。)

だから、毎月、「新月」があるのです。

私たちのカレンダーは、太陽系のあらゆる周期に基づいてできあがっています。ワークシート 2 の白紙のカレンダーを思い出してください。

カレンダーの、もう一つの時間区分は「週」です。私たちが「週」と呼ぶ期間は、何からきていま

すか？

(生徒に答えさせます。太陽系には、週のサイクルの基づきたいかなる出来事も知られていません)

私たちの週は、世界の創造に基づいているのです。私たちが、普段から週のサイクルで活動しているというのは驚くべきことではないでしょうか？ 世界を神様が創造されたということも、第七日が安息日だと信じていない人も、一週間を守っているのです！

このことは、神様の創造を信じているけれども、第七日を安息日として守っていない人々についての質問を提起します。なぜ多くのクリスチャンが、安息日ではなく、日曜日に教会に行くのでしょうか？ あなたは、何か聞いたことがありますか？ あなたはどう思いますか？

(生徒の答え)

驚いたことに、日曜日に教会に行くほとんどの人は、日曜日が礼拝の日だと聖書が教えていると思っています。聖書が、他の日を安息日だと呼んでいることを疑問に思うのです。ですから追求されると、彼らは「イエス様は、日曜日に復活されました。だから私たちは、復活を記念して日曜日に教会に行くのです」等という理由を述べます。毎年イースターをお祝いすることはよいアイデアです。でもそれは、一年に一度であって、毎週ではありません。「一週間のどの日を聖としても大きな問題ありません。どの一日でも聖とすればいいのです」と言う人もいます。

聖書の中に、安息日が日曜日だと証明している言葉を探そうとするなら、彼らは本当に、不利な立場になります。なぜなら、聖書は決してそう言っていないからです。事実、クリスチャンは聖書が書かれるまで、日曜日の礼拝を始めていなかったのです。当然、聖書はそれについて何も言っていません。クリスチャンが日曜日に礼拝を始めた理由は、安息日に礼拝しているユダヤ人と自分たちは違う、と見られたいためでした。しかし、第七日を安息日とする、ということについては、神様が聖書の中で明らかにしておられることと調和するか、あるいは、神様の命令の代わりに自分たちの考えを押し通すか、という問題になります。大多数のクリスチャンが何百年もの間、日曜日を安息日として守ってきたことは、決して正しいことではありません。大多数がいつも正しいと誰が言いましたか？ 第七日を安息日として守ることは、聖書が書かれるずっと前、世界の創造にまでさかのぼるのです！ 第七日安息日の記録が、聖書の中にあるのはそのためです。

IV. イザヤ書 58 章 13、14 節： 安息日は、神様のことをする日です。

第七日が安息日である、ということについて、もう一つ大切なことがあります。それは、この特別な日に、神様が、私たちのためにお考えになったすべてのことを経験するためです。私たちはすでに、安息日を守るための三つのキーワードを見てきました。それは、「休み」「祝福」「聖とする」です。この重要な日を、もう一つの視点で見ると、イザヤ書 58 章 13、14 節に書かれています。

(一人の生徒に聖句を読んでもらいます。その聖句の意味を自由にディスカッションさせましょう。そして、聖句シートに自分の言葉で書かせます。)

この聖句から、「あなたの楽しみをなさず」(口語訳)とあるので、面白いことは、すべてだめ、と理解し、安息日には楽しいことはしてはいけない、と考える人がいます。しかし、次の聖句は、「安

息日を喜びの日と呼び」と言っています。この違いは、したいと思うことを、あなたの視点から見るのか、神様の視点から見るのか、というところにあります。私たちは、この聖句を次のように言い換えることが出来ます。「安息日にあなた自身のしたいことをするのはやめなさい。その代わりに、神様をご存知のことで、あなたを幸せにすることをしなさい」

それは、どのようなことでしょうか？ ワークシート2の質問5に答え、自由に考えをディスカッションしてみましょう。でも、三つの原則「休み」「祝福」「聖とする」を忘れないようにしましょう。

(ワークシート2の質問5に答えさせます)

神様がお考えになったように、安息日を特別な日にするためのリストを持つことはいいことです。しかし、ここでさらに考える必要があります。それがイザヤ書58章13、14節が言っているところなのです。質問5の「したいこと」を選んで、質問6のどの箱に属しているか分けてみましょう。いくつかの「したいこと」は、安息日するのに「良い」ことであり、反対に「悪い」に属するものもあります。ほかにも「普通」あるいは、「とても良い」にあてはまるのはどんなことでしょうか？ 安息日は「とても良い」ことをするための日です。

(ワークシート2の質問6をやらせます)

V. マルコによる福音書2章27、28節： 神様は、私たちのために、安息日を創造されました。

あなたは、神様のお考えになった安息日とは違う過ごし方をしたことがあるでしょう。人間は、安息日にすべきこととすべきでない事のたくさんのリストを作り上げようとします。これでは、安息日は一週間の中で最悪の日になってしまいます。まさにそれが、イエス様が地上におられたときの安息日でした。私たちは、安息日を特別な日にしたい、という願いを持っていますが、しばしば方法を間違っ、安息日を最悪のものにしてしまうのです。

イエス様が、安息日にすべきでないことをしていると人々から責められたときに、イエス様が言った言葉を忘れないようにしましょう。マルコによる福音書2章27、28節を読みましょう。

(一人の生徒に聖句を読ませ、生徒それぞれに、聖句シート2に自分の言葉で書かせます。)

神様は、安息日を守らせるために、私たちを創造したのではありません。神様は、私たちの利益となるように安息日を創造されたのです。神様は初めから、私たち人間が仕事や遊びで忙しくなり、神様との十分な時間をとれなくなることをご存知だったに違いありません。だからこそ、安息日を与えて、毎週、私たちが神様の子どもであることを思い起こさせ、神様の視点に引き戻す特別な日をお与えになったのです。

結論

あなたは、神様の子どもとして、また神様に創られたものの一人として、次の安息日に、神様に焦点を合わせたいと願いますか？ そうであるなら、それを実現させるために、どのような計画を立てますか？



聖句シート 2 :

驚き (創造と安息日)

次の聖句を読んで、自分の言葉でまとめてみましょう。

1. 創世記 1 章 1 節

2. 創世記 2 章 1 ～ 3 節

3. ルカによる福音書 4 章 16 節

4. イザヤ書 58 章 13、14 節

5. マルコによる福音書 2 章 27 ～ 28 節

ワークシート 2 : 驚き (創造と安息日)



1. あなたの誕生日はいつですか? _____ 年 ____ 月 ____ 日

2. 神様がおられるなら、あなたを創ったのは誰ですか?

3. もし神様がいないなら、あなたを創ったのは誰ですか?

カレンダー

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	安息日



ワークシート 2 :

驚き (創造と安息日)

4. なぜ多くのクリスチャンが、
安息日の代わりに日曜日に教会に行くのでしょうか？

5. 安息日にしたいと思うことがらのリストの空欄に、
あなたのアイデアを加えてみましょう。

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 買い物 | 7. 安息日に教会に行く |
| 2. 屋外で過ごす | 8. 地域活動に参加する |
| 3. 家族と過ごす | 9. _____ |
| 4. テレビを見る。ゲームをする | 10. _____ |
| 5. 病気の人にお花を届ける | 11. _____ |
| 6. 自分の部屋を掃除する。家事をする | 12. _____ |

6. 質問 5 のリストを見て、それぞれ下の箱に分けて見ましょう。
それはあなた自身がしたいことですか？
それともの神様のためのことですか？

良くないと思われるものは「悪い」
まあまあのもは「普通」
良いと思われるものは「良い」
とても良いと思われるものは「とても良い」

悪い	普通	良い	とても良い

「家族で話そう」シート2： 驚き（創造と安息日）



1. あなたは創造論と進化論、どちらが信じやすいですか？
それはなぜですか？

2. 「安息日」という言葉を聞いて、どんなことをイメージしますか？

3. 安息日に家族でしている習慣がありますか？ あなたはどんな習慣を
実行したいですか？

4. なぜあなたは、安息日に礼拝するのですか？ 一週間のうちの一日を
選んで礼拝することに何か意味があるのでしょうか？

5. 「なぜ日曜日ではなく、土曜日に教会に行くのですか？」と聞かれたら、
あなたはどのように答えますか？

6. 今まででいちばん良かった安息日はどんな安息日でしたか？

7. 安息日を特別な日にするために、あなたにできることは何ですか？

このテーマについての質問や意見があれば書いてください。
